

2023年7月6日

通貨ニュース

OECD 景気先行指数：世界経済の底入れを示唆も、二番底にも警戒が必要

7月5日、OECD（経済協力開発機構）は6月分のCLI（景気先行指数、Composite leading indicator）を公表した。景気循環の転換点の兆候を早期に捉えるための指標であり、先行期間は6～9か月とされている。また、サンプルから外れ値を除去したのちに、それらを標準化することで算出される長期平均（＝中立水準）を100としている。すなわち、100以上は景気拡大、100以下は景気縮小局面を意味する。OECDによれば、G20のCLIは+0.08%上昇した（図表1、2）。22年11月まで17か月連続で低下したのち、7か月上昇を続けている。また、G7(+0.03%)も6か月連続で上昇。以下、地域別に確認する。

アメリカ大陸は、南米では切り返しが見て取れる（図表1、3）。ブラジル(+0.14%)は3か月連続で、メキシコ(+0.09%)は9か月連続でそれぞれ上昇した。また、米国(+0.08%)も3か月連続で上昇。他方、カナダ(▲0.05%)は23か月連続で低下した。

欧州圏は、長期平均割れは継続、方向感としてはまちまちの結果となった（図表1、2、4）。欧州主要4か国のCLIは、▲0.03%と前月に続き低下した。個別国では、フランス(▲0.12%)は20か月連続で、ドイツ(▲0.06%)は前月に続きそれぞれ低下した。

アジア・オセアニアは、中国の切り返しが目立つ（図表1、5）。中国(+0.19%)は11か月連続で、韓国(+0.14%)は4か月連続で上昇した。また、インドネシア(+0.09%)は4か月連続で、オーストリア(+0.05%)は25か月ぶりに上昇。加えて、日本(+0.04%)も5か月連続で上昇した。他方、インド(▲0.02%)は20か月連続で低下した。

中東・アフリカは軟調な結果となった（図表1、6）。南アフリカ(▲0.19%)は16か月連続で、トルコ(▲0.04%)は9か月ぶりに低下した。

G20のCLIは、上述の通り7か月連続で上昇を見せており、すでに底入れをした可能性が高い。22年3月以来となる長期平均超えも目前に迫っている。足許ではFRBやBOEをはじめ、主要国中銀による利上げが思ったより長引いている印象が強いが、供給政策の一層の改善や商品価格の続落が景気見通しの下支えをしているのだろう。もっとも、S&P Globalが公表するPMIの推移を確認すれば、年初以降グローバルな景況感は増勢を保ってきたが、最新の6月分では頭打ち感も見えて取れる。各国ともに好調なサービス業が景況感の押し上げに大きく寄与してきたのは過去の本欄でもたびたび論じてきたが、それには早くも息切れ感がある。加えて、昨年来期待されてきた中国経済回復が今のところ期待外れの結果に終わっていることも、相応に影響していそう。PMIはより短期の景況感を指し示す指数であり、これがCLIにどの程度影響するかはまだ判別できないが、主要国中銀による利上げ局面の長期化や中国経済の不調がさらに続いた場合、世界経済の二番底も覚悟する必要があるだろう。

市場営業部
長谷川 久悟

03-3242-7065

kyugo.hasegawa@mizuho-bk.co.jp

図表 1: OECD 景気先行指数の推移

OECD景気先行指数	(長期平均=100)								
	22年11月	22年12月	23年01月	23年02月	23年03月	23年04月	23年05月	23年06月	前月比(%)
G20	99.0	99.0	99.1	99.2	99.3	99.4	99.5	99.5	0.08
G7	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8	98.9	98.9	98.9	0.03
主要欧州4か国	98.2	98.3	98.5	98.7	98.8	98.8	98.8	98.8	▲ 0.03
主要アジア5か国	99.1	99.2	99.4	99.5	99.7	99.8	99.9	100.0	0.12
米国	98.9	98.8	98.8	98.7	98.7	98.7	98.8	98.9	0.08
カナダ	97.9	97.7	97.6	97.4	97.3	97.3	97.2	97.1	▲ 0.05
ブラジル	99.7	99.5	99.4	99.3	99.3	99.3	99.5	99.6	0.14
メキシコ	99.7	99.9	100.2	100.4	100.5	100.6	100.7	100.8	0.09
ドイツ	98.7	98.9	99.1	99.3	99.5	99.6	99.5	99.5	▲ 0.06
フランス	98.8	98.7	98.6	98.5	98.4	98.2	98.1	98.0	▲ 0.12
イタリア	97.8	97.9	98.1	98.3	98.4	98.4	98.4	98.3	▲ 0.05
スペイン	98.5	98.7	98.9	99.1	99.2	99.2	99.3	99.3	0.04
英国	97.1	97.5	97.8	98.1	98.3	98.5	98.6	98.7	0.11
日本	100.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.1	100.1	100.2	0.04
オーストラリア	99.1	98.9	98.8	98.8	98.7	98.7	98.7	98.8	0.05
中国	98.8	99.1	99.4	99.7	100.0	100.2	100.4	100.6	0.19
韓国	98.9	98.7	98.6	98.5	98.5	98.6	98.8	98.9	0.14
インド	99.7	99.6	99.5	99.4	99.3	99.3	99.2	99.2	▲ 0.03
インドネシア	97.9	97.7	97.6	97.6	97.6	97.7	97.8	97.9	0.09
南アフリカ	100.7	100.6	100.5	100.4	100.2	100.0	99.8	99.6	▲ 0.19
トルコ	99.4	99.5	99.7	99.9	100.1	100.4	100.6	100.5	▲ 0.04

(資料) OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

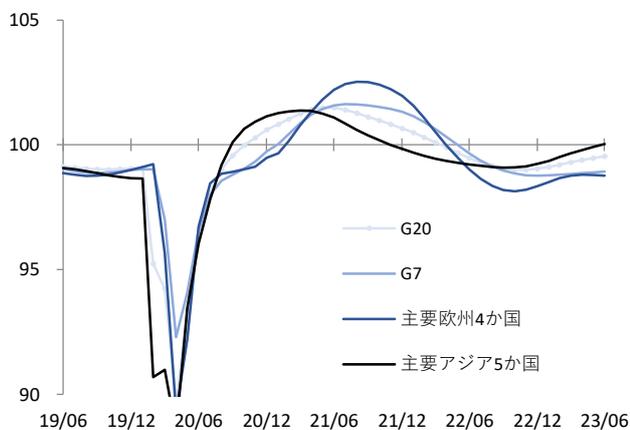
資料: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

※それぞれ四捨五入で記載している

※主要欧州4か国はフランス、ドイツ、イタリア、英国

※主要アジア5か国は中国、インド、インドネシア、日本、韓国

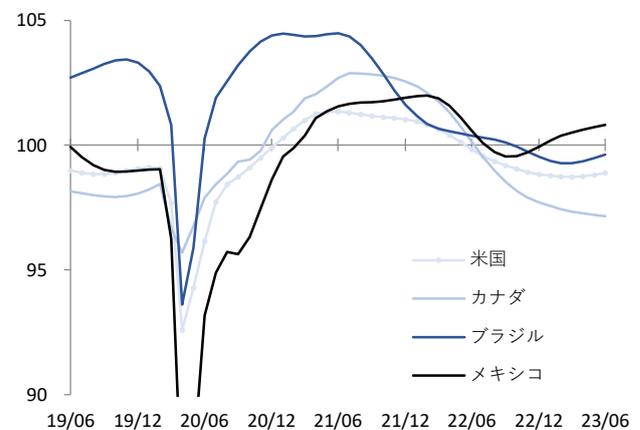
図表 2: G20、G7、主要欧州4か国、主要アジア5か国



出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

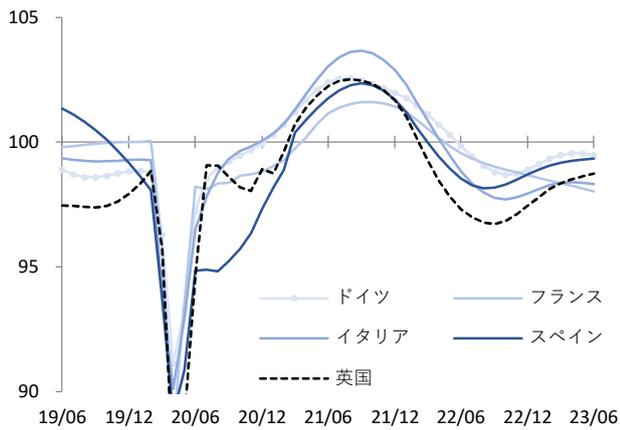
※コロナ期の下限は意図的にカットしている。以下図も同様。

図表 3: アメリカ大陸



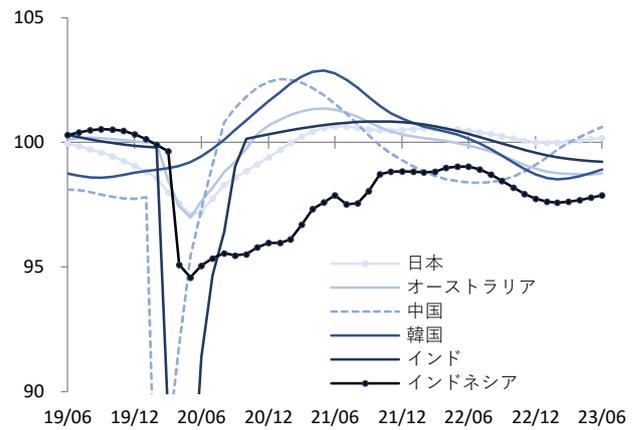
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 欧州圏



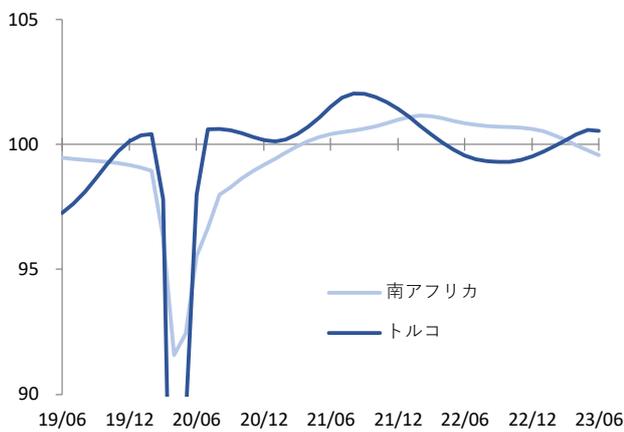
出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: アジア・オセアニア



出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 6: 中東・アフリカ



出所: OECD、ブルームバーグ、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。